

令和7年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名： 秘書課 シート No.： 130 作成日： 2026.5/1

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	—	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	—	地方自治の育成に貢献された方や県政の発展に功績のあった方を、叙勲・褒章・功労者表彰等において国や県に内申します。また、市政の進展に顕著な功労のあった方には、その功績を讃える表彰式を開催します。新年には、商工会やＪＡと共催し、希望に満ちた新春を祝い、市の一層の発展を目指す賀詞交歓会を開催します。 さらに今年度は、合併後初となる記念式典を開催し、行政と市民がそれぞれの立場から常総市誕生からの20年に思いを馳せ、その思いを共有できる式典となるよう運営します。	地方自治や市行政に貢献していただいた方を表彰することにより、市民の方の市行政への関心を深めていただくとともに、市民のための行政であることを職員も改めて認識することで、より良い市政発展に繋げていきます。 また、各々の式典を開催するにあたり、市民や民間企業、議員の方々との交流を深めるとともに、常総市の今後の発展に向け、協力する体制の構築を図ります。
	施策	—		
	施策内容	—		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	常総市表彰条例		
事務事業名		栄典・表彰事務及び式典の開催		

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R7予算額	R7決算額
活動名・事業名 （対象年）	R7活動・事業内容	指標（単位）	R7目標値	R8目標値		
			R7実績値	R9目標値		
春秋生存者叙勲褒章内申（R7・8・9）	潜在候補者の中の資格者を確認し必要書類を県市町村課に提出し、国へ内申します。	—	—	—	0千円	0千円
死亡叙勲・叙位の内申（R7・8・9）	潜在候補者名簿に登載されている自治関係者が死亡した際に、必要書類県市町村課に提出し、国へ内申します。	—	—	—	0千円	0千円
高齢者叙勲の内申（R7・8・9）	満88歳に高齢者叙勲の対象となる者の誕生月の4か月前までに内申書を作成し、上申します。	—	—	—	0千円	0千円
県、県市長会、その他表彰の推薦・内申（R7・8・9）	県、県市長会、その他団体から表彰者の推薦依頼があった際、各課が精査した推薦者の内申を行います。	推薦者数(人)	6 4	6 6	0千円	0千円
春・秋の潜在候補者の報告（R7・8・9）	5月と10月の2回潜在候補者の調査を行い、表彰該当となった際に漏れのないように県に報告します。	—	—	—	0千円	0千円
合併20周年記念式典の開催（R7）	前年度から引き続き関係課と準備を行い記念となる式典を開催します。	参加者数(人)	500 268	— —	1,337千円	1,283千円
賀詞交歓会実行委員会の開催（R7・8・9）	市、商工会及びＪＡ代表者による実行委員会で開催日、開催内容等を決定します。	—			0千円	0千円
常総市賀詞交歓会の開催（R7・8・9）	実行委員会で決定した招待者と共に、賀詞交歓会を商工会及びＪＡと共催し、新春を慶び、交流を深めます。	参加率(%)	60 31	60 60	120千円	120千円
市政功労者表彰審査会の実施（R7・8・9）	常総市表彰条例に基づき年2回審査会を実施し、表彰者を決定します。	—	—	—	0千円	0千円
市政功労者表彰式典の開催（R7・8・9）	表彰審査会で決定した受賞者の表彰式典を開催します。	—	—	—	182千円	150千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R7実績値
市推薦による表彰者数	6人	4人
合併記念式典参加者数	500人	268人
賀詞交歓会参加率	60%	31%

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
常総市合併20周年記念式典においては、近隣自治体や市政発展に寄与された功労者の方々を招待し、合併20周年を共に祝い、さらなる飛躍をめざすことができました。 一方、賀詞交歓会においては、当日の出席者が招待者の約31%に留まっており、来年度以降の実行委員会にて、招待者の選定を含めた式典内容等の再考が必要であると考えます。	☐ コスト	☒ 活動	☐ 成果	☐ その他
	今後の方向性			
	表彰に該当する方の内申が漏れないように庁内で周知し、様々な分野から該当者の内申を整備できるように各課と連携を取りながら協議を進めます。これにより、表彰される方や団体の増加を図ります。			